



選挙に関するアンケート集計結果

1月10日に、中央公民館で成人式が開催されました。町選挙管理委員会では、式に出席した新成人のうち100人を対象とし、聞き取り調査の手法でアンケート調査を実施しました。
問い合わせ／町選挙管理委員会（☎581・2121内線311・312）へ。



教えて！ めいすいくん 特別号

選挙について考えよう

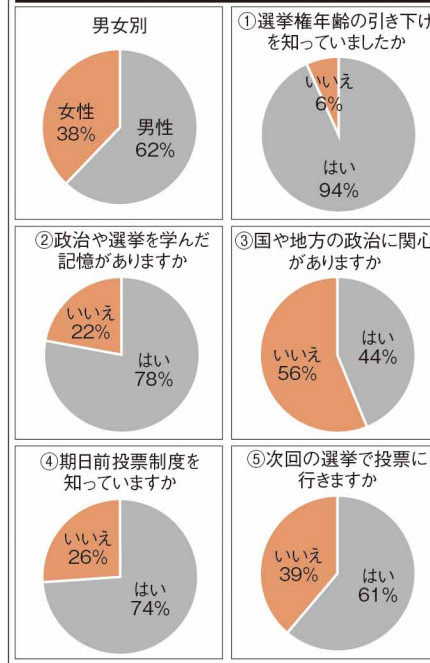
私 たちは、家庭や地域、学校や職場など、さまざまな場所で暮らしています。私たちの生活や社会をよくするためには、普段の暮らしの中で感じる思いや願いを、私たちの代わりにより国や地域で実現してくれる代表者が 필요합니다。その代表者を選ぶことが「選挙」です。

私たちは20歳になると、みんなの代表者を選ぶことができるようになります。選挙権（選挙）が得られます。今年の夏に実施される参議院議員通常選挙からは、選挙権が得られる年齢が18歳に引き上げられる予定です。

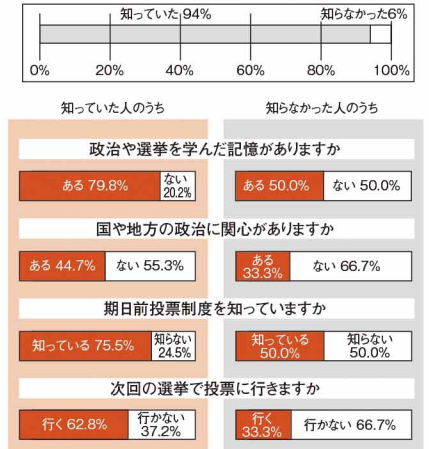
私たちみんなが、よりよい社会づくりに参加できるように定められた選挙制度ですが、近年は全国的に投票率が低い状況が続き、寄居町も例外ではありません。（グラフ1・2）

昨年10月から本誌で「教えて！ めいすいくん」を掲載していますが、今月号では、「選挙」についてより一層関心を深めていただくため、選挙の大切さや、1月に実施した新成人へのアンケートの集計結果と考察についてお知らせします。

全体集計結果

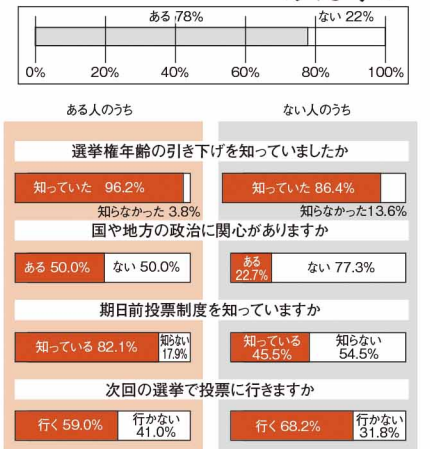


①選挙権年齢の引き下げを知っていましたか

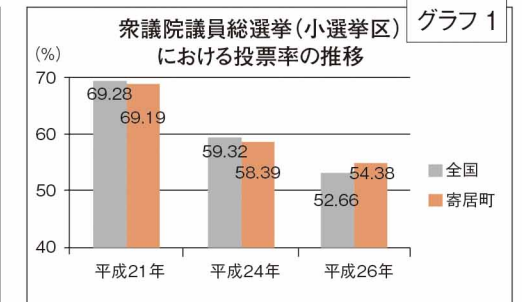
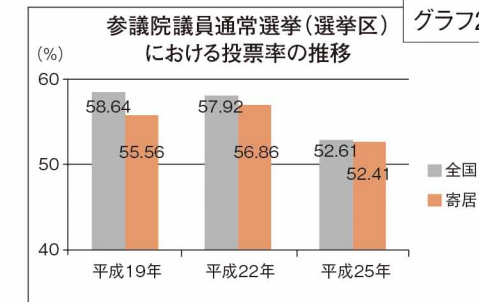


選挙権年齢の引き下げを知っていた人は9割を超えているね。
一方、知っていた人の中でも、政治に関心がある人は約4割、次回の選挙で投票すると答えた人は約6割にとどまり、関心と投票意識の改善が課題だと読み取れるね。

②政治や選挙を学んだ記憶がありますか



4分の3以上の人が政治等について学んだ記憶があるようだね。
学んだ記憶がある人も、半数の人が政治に関心がないという結果から、政治や選挙のことを知識として得るだけでなく、興味・関心を持ってもらうことが大切だね。



身近な選挙
選挙とは、私たちの代表者を選び、私たちの意見を政治に反映させるためのものです。私たち一人ひとりが選挙に関心を持つことで、選挙はもつと身近なものになるといえます。

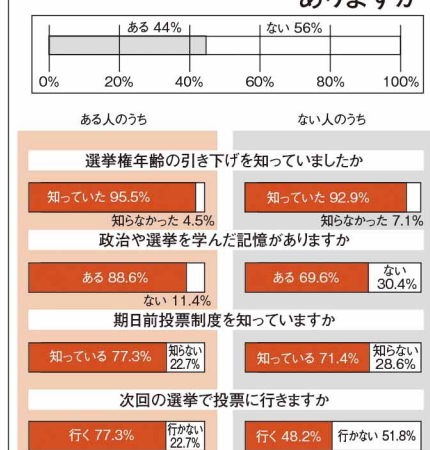
みんなの代表
選挙により選ばれた代表者は、国民や住民の代表者となります。したがって、一部の代表としてではなく、すべての国民や住民のために政治を行うことになりま

多数決
民主政治の原則である多数決は、人々の意見を集約し、決定する際に用いる方法です。より多くの支持を得た者を代表者とするることによって、政治の安定化を図ります。

憲法と選挙
選挙に関する規定を定めた公職選挙法は、日本国憲法第15条の「公務員の選挙については、成年者による普通選挙を保障する」という精神にのっとりてい

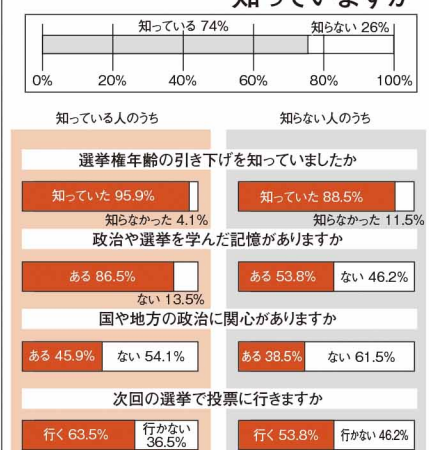
参加することの意義がある
政治への参加方法である選挙は、投票してこそ意味を持ちます。そして、民主主義国家の基本である選挙は、いろいろな要素をもっています。

③国や地方の政治に関心がありますか



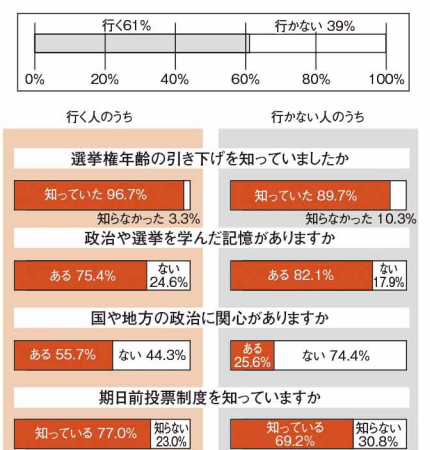
関心を持っている人は半数に満たない状況だね。
関心がない人の中でも、半数近くの人が投票すると答えていることから、ただ投票するだけでなく、政治について自分自身の考えを持って投票してもらうことが重要だね。

④期日前投票制度を知っていますか



4分の3程度の人が期日前投票制度のことを知っているね。
制度を知らない人は、政治について学んだ記憶がないという回答が多かったため、制度を学ぶ機会を多く設ける必要があるね。

⑤次回の選挙で投票に行きますか



6割の人が、次回の選挙で投票に行くと考えているね。
投票に行かないと答えた人の中で、政治に関心がないという回答が多かったことから、投票行動は政治への関心と密接に関わっていることが分かるね。



町内各中学校の生徒会選挙では、町が所有している実物の投票箱を用いて、投票を行っています。今回取材させていただいた男衾中学校では、体育館での演説会の後、各教室で投票を行いました。町選挙管理委員会では、選挙の啓発のため、実際に使用する資材の貸出も行っています。

実物の投票箱に票を投じる生徒たち

開票作業の様子